

古典の日制定記念

人形芝居公演

◆ 沼須人形 ◆

◆ 下牧人形 ◆

令和8年 10月3日 土
13:00開演(開場12:30)

ながめ余興場

みどり市大間々町大間々1635

入場無料

定員 先着400名
(自由席・予約優先)

当日お席に余裕があれば予約無しでも
ご観覧いただけます。

第1部
13:00

沼須人形芝居保存会あけぼの座

沼田市

演目 『壺坂霊験記 山の段』

第2部
14:05

下牧人形芝居保存会吉田座

みなかみ町

ワークショップ 人形の仕組み・操作

演目 『傾城阿波の鳴門 順礼歌の段』

団体紹介・演目解説

川上 晃
群馬大学名誉教授

申込み・問合せ

申込方法

申込フォーム(二次元コード)または電話
<https://forms.gle/U4md95uHA26BTUog6>

受付期間

8月4日(火)～9月30日(水)

問合せ

群馬県教育文化事業団 文化課 電話 027-224-3960
bunkaka@gunmabunkazigyodan.or.jp
日曜月曜祝日を除く8:30～17:15

申込みフォーム



事業団HP



都合により内容を変更する場合があります。詳細はお問合せいただくか、ホームページをご覧ください。

主催 群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会（実施：公益財団法人群馬県教育文化事業団）

協力 NPO法人ぐんま郷土芸能助っ人塾

後援 群馬県、群馬県教育委員会、みどり市、みどり市教育委員会、沼田市教育委員会、みなかみ町教育委員会、ぐんま人形芝居連絡協議会、上毛新聞社、NHK前橋放送局
FM GUNMA、群馬テレビ株式会社、第50回県民芸術祭運営委員会

古典の日制定記念 人形芝居公演

人形芝居は、「太夫」と呼ばれる語り手、「三味線」の演奏、そして「人形遣い」が操る人形、この三つが一体となって物語を表現する日本を代表する伝統芸能です。人形芝居には、一体の人形を一人で操る「一人遣い」と三人で操る「三人遣い」があり、県内には五座の人形芝居が活動しています。

※ 沼須人形芝居保存会あけぼの座 沼田市

江戸時代末期の安政年間頃に伝わったとされ、活動が途絶えたこともありましたが、昭和50年に「沼須人形芝居保存会あけぼの座」として復活し、昨年、復活50周年を迎えました。地元の春祭りの奉納公演（4月3日）、沼田市の文化祭、地域の古典芸能祭、小中学校への伝統芸能教室などの公演活動も行っています。令和5年には、群馬県で初めて、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟のプロジェクト未来遺産2022に「沼須人形芝居継承者プロジェクト〜江戸時代の技を今につなぐ〜」として登録されました。人形は一人遣いで、遣い手は人形衣装の背中から右手あるいは左手を差し込む背中差し込み式の立遣いです。



演目 「壺坂霊験記 山の段」

大和国（現在の奈良県）壺坂に住む盲目の「沢市」は三味線弾きをし、女房「お里」の内職のかせぎに助けられながら、細々と暮らしていました。そんなある日、近頃お里が毎晩家を空けることに気づいて、疑念をもった沢市は、お里を問い詰めますと、実は壺坂寺へ『沢市の目が治るように』と願掛けに行っていたのだと知ります。沢市はお里に疑ったことを詫び、壺坂寺へお参りすることにしました。しかし、『こんな自分と暮らしていてもお里は幸せにはなれない』と絶望し、傍らの谷に身を投げてしまいます。後を追ってお里も身を投げます。しかし、観音様のご利益で二人の命は救われ、沢市の目も見えるようになったという、お里の献身的な愛を描いた作品です。

※ 下牧人形芝居保存会吉田座 みなかみ町

三人遣いの人形芝居で、義太夫節と三味線に合わせて演じられる文楽式人形芝居です。元禄年間に村の古老三人が伊勢参りの折、人形の頭を五つ買って帰ったことが始まりとされています。何度かの中絶もありましたが、終戦後の昭和22年に復活しました。利根沼田伝承古典芸能祭への出演や、下牧区での公演（4月第3日曜日）、小中学校伝統芸能教室を開催しているほか、随時依頼公演を行っています。昭和58年古馬牧の人形浄瑠璃（附人形33個）が県指定重要無形民俗文化財に指定。昭和63年群馬県教育文化功労賞、平成13年文部科学大臣地域文化功労者表彰。



演目 「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」

阿波十郎兵衛は、阿波城主・玉城家の家老に仕えていたが、悪臣小野田郡兵衛の家老を負傷させたことから、勘当を受ける。許しを請うため家老を訪ねた十郎兵衛は、紛失した主家の重宝国次の刀の行方を探そう命じられ、探索のために盗賊となって女房のお弓とともに大坂に住んでいる。留守を守るお弓のもとに、十郎兵衛や盗賊仲間を追っ手が迫っているため、一刻も早く立ち退くようにという知らせが入る。夫の無事を案じているところへ、幼い順礼の少女がやってくる。話を聞くうち、少女が故郷に残してきた実の娘お鶴とわかる。数年ぶりに会う娘の姿にお弓の心は乱れるが、今は盗賊の身のため、お鶴に罪が掛かってはと、国に帰るように去らせる。しかし、二度と会えないかも知れないと思い直したお弓はお鶴の後を追うのであった。

古典の日 11月1日

昨年度の様子を
YouTubeで公開中



ながめ余興場アクセス

車 北関東自動車道「太田藪塚IC」から約20分

電車 わたらせ渓谷鐵道「大間々駅」から徒歩約8分
東武鉄道・上毛電氣鉄道「赤城駅」から徒歩約15分

国民が広く古典の意義を再認識し、古典に親しむ機会を増やそうと平成24年に古典の日が制定されました。群馬県教育文化事業団では、地域の伝統芸能を通して古典に親しみ、伝統文化への意識高揚を図るため、県内で活躍する人形芝居に特化した公演を平成26年度から開催しています。